

## 今後の住まい等に関する相談会における意向調査の 結果について

### 《市長コメント》

先に実施いたしました「今後の住まい等に関する相談会における意向調査」の結果についてお知らせいたします。

始めに、5月から6月にかけて実施しました、市街地における防災集団移転の対象となる方々の意向調査の結果について、概要をお知らせいたします。

今回の意向調査は、被災市街地復興推進地域の非可住となる区域に居住されていた3,229世帯を対象としており、2,534世帯の方から回答をいただき、回収率は78.5%となっております。

概要といたしましては、住宅の再建方法で「新市街地に移転」を希望している方が24.5%となっており、そのうち、新蛇田地区を希望する方が79.6%、新渡波地区を希望する方は5.3%となっております。

また、「災害公営住宅に入居」を希望している方が34.3%となっており、そのうち、新蛇田地区を希望する方が70.8%、新渡波地区を希望する方は4.9%となっております。

次に、石巻地区半島部及び雄勝、牡鹿、河北、北上の各地区における意向調査を平成24年8月23日時点で集計した概要速報値をお知らせいたします。

対象世帯数及び調査期間は、北上地区が546世帯を対象に今年3月、石巻地区半島部は448世帯、雄勝地区は1,150世帯、牡鹿地区は1,022世帯を対象に6月、河北地区は、先月の2日から7日までに320世帯を対象に実施し、対象世帯数の合計は3,486世帯、回答世帯数2,551世帯で、回収率は73.2%となっております。

移転先に関する全体的な傾向として、「従前の集落に移転」を希望する方が41.0%でありました。

地区別では、石巻地区半島部が87.8%と最も多く、次に牡鹿地区が74.7%となっております。

一方、新市街地を希望された方もおり、新蛇田地区、新渡波地区、そのどちらでも良い、の3つの選択肢の中で、新蛇田地区を希望する割合が73.5%と高い状況となりました。

今回の意向を受け、各種事業の計画策定に活用してまいりますとともに、今後必要に応じて、精度を高めた意向調査を実施してまいります。